

1 年次前期・必修

1 単位・15 時間

【概要・目的】

健康な人の身体的・精神的・社会的発達を理解するために、母性のライフステージにおける特徴と発達課題を学び、健康を守る生活支援や看護の役割を理解する。母性領域の看護学を学ぶ概論となる科目である。

【到達目標】

母性看護の対象となる人への理解を深め、発達の特徴と健康への看護を学修する。

1. 人間を生涯発達の視点でとらえ、人間発達の共通性と特異性を理解できるよう学修する。
 2. ライフステージにおける母性看護対象者の特徴と発達課題を身体的・精神的・社会的側面から理解できるように学修する。
 3. 個人が主体的に健康を守り、望ましい発達や適応を促進する生活ができるよう支援する保健看護について学修する。
-

【内容・スケジュール】

- 1) ライフステージと看護 母性看護の対象の理解と発達課題
思春期・成熟期・更年期・老年期
 - 2) 母性の健康課題・発達課題と危機
 - 3) 日本の母子保健の動向（母子保健統計）
 - 4) 母性看護に関わる職種と役割
 - 5) 周産期医療システムと母子保健施策
 - 6) 母子保健に関わる法律
 - 7) リプロダクティブヘルス/ライツ
 - 8) 母性看護における理論と倫理的課題
-

【評価】

筆記試験 90%、講義への出席状況・参加状況 10%

【教科書】

渡邊浩子他 「母性看護学概論／ウイメンズヘルスと看護」メヂカルフレンド社
